

○ 大城有機肥料は、地域の食品製造業者から排出される食品残渣や汚泥等を活用し、汚泥肥料「マルダイ堆肥」を製造。

国内資源の種類 肥料の種類・肥料名称

- ・植物質原料（米ぬか、コーヒーかす、茶かす、剪定木チップ）
 - ・（食品）工場汚泥
 - ・豚ふん堆肥
 - ・汚泥肥料
- 汚泥肥料
「マルダイ堆肥」

作物

- ・野菜（きゅうり、ピーマン、インゲン、ゴーヤー等）
- ・花き（キク等）
- ・果樹（マンゴー）

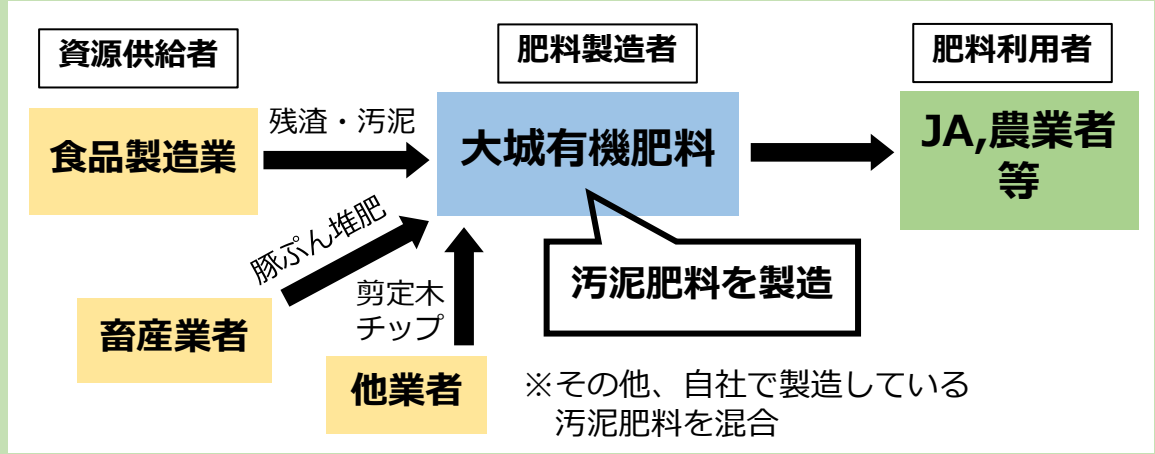
主成分の含有量(%)

N	P	K
1.6	3.4	1.1

取組の経緯・内容・成果（見込み）

- 取組の経緯
 - ・大城有機肥料では、昭和60年頃から、特殊肥料（堆肥）の製造。
 - ・平成20年頃に、食品製造業者から、工場から排出される汚泥の処理について相談を受けたことから、汚泥肥料の開発・製造を開始。
- 取組の内容
 - ・肥料の主成分の含有量を安定させるため、原料の調達を工夫している。
 - ・販売先は、近隣JA、農業者、造園業者。
 - ・宣伝販売は行っていないが、口コミで購入者が広がっている。
 - ・汚泥肥料の理解を深めてもらうため、販売時に商品の説明を行っている。
- 成果（見込み）
 - ・長年、肥料を購入している農業者からは、化学肥料の使用量が減少し環境に優しい栽培に取り組めるようになったと好評を得ている。消費者へも汚泥肥料の安全性を理解してもらい、商品を選択してもらえるよう取り組む。

主たる取組主体と肥料利用までの流れ



今後の課題・取組

・「汚泥」という名前のイメージで汚泥肥料の使用を避ける農業者もいるため、汚泥肥料の理解を深めてもらうためのPRが必要。